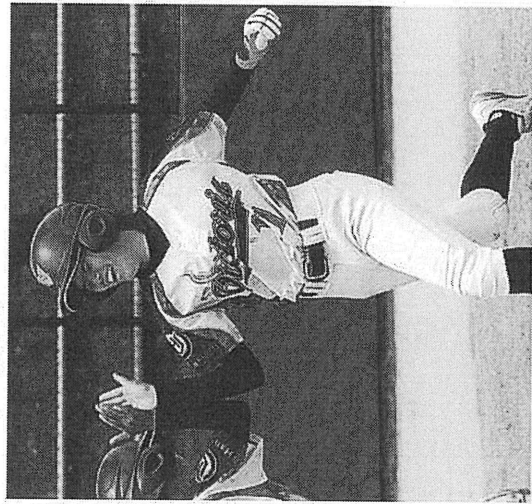


中学女子球児 打つ 投げる 全力

生還し笑顔でハイタッチする兵庫ヴァイクトリアの選手

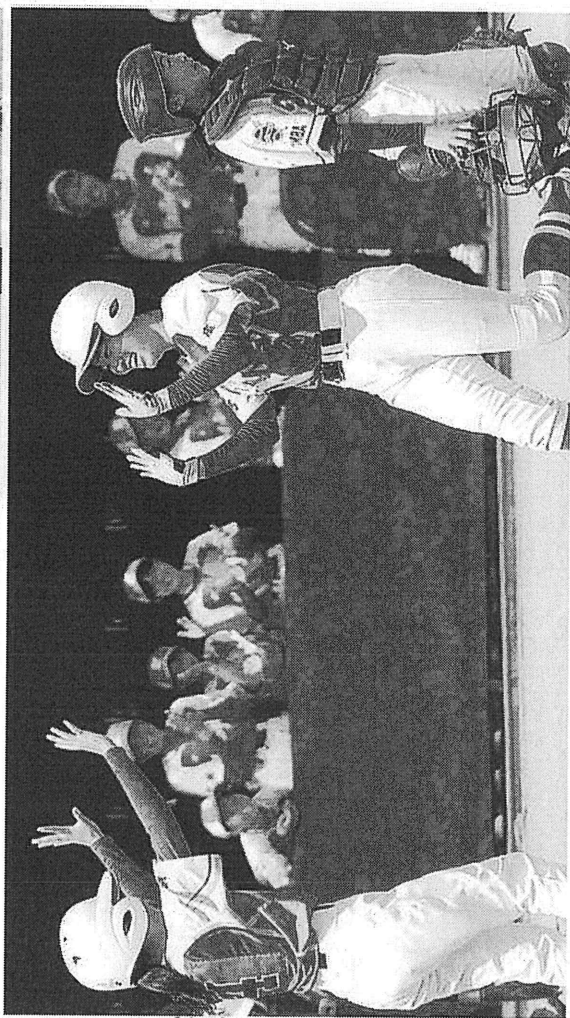


丹波市

中学生の女子野球チームの大会「ベリーエースカップ」(神戸新聞社後援)が、丹波市市島町中竹田のつかさづグループいちじま球場であった。県内4チームが参加し、トーナメント形式などで熱戦を繰り広げた。

丹波市の小中学生らでつくる「丹波ベリーエース」が主催。但馬地域の選手らで構成する「但馬ユナイトガールズ」(養父市)、加古川市に拠点を置く「フルスイング兵庫」、神戸市の選手らでつくる「兵庫ヴァイクトリア」の3チームを招待した。会場のいちじま球場は、全国高校女子硬式野球選手権大会も開かれる女子野球の「聖地」。選手たちは憧れのグラウンドで、力いっぱいバットを振ったり、土にまみれて自球を追ったりした。

但馬ユナイトガールズの丸尾



笑顔で生還し仲間に迎ええられる但馬ユナイトガールズの選手＝いずれも丹波市市島町中竹田

「聖地」で県内4チーム熱戦

彩花主将(13)＝朝来市立朝来中2年＝は「ほかの大会になに楽しさや魅力があると思う。またぜひ開催してほしい」。フルスイング兵庫の長岡明花莉主将(14)＝姫路市立夢陵中3年＝は「これまで試合を見に来ていた場所で実際に戦うことができ、楽しさ倍増」と笑顔を見せた。

兵庫ヴァイクトリアの諫山来羽主将(14)＝高砂市立荒井中3年＝は「今日が中学最後の試合だったので大切な思い出になった」と話していた。

(秋山亮太)